



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

神奈川工科大学 基礎・教養教育センター 物理系列任期制教員

1. 准教授1名
2. (1) 基礎・教養教育センター物理系列、(2) 神奈川県厚木市
3. 物理学または物理学を応用する分野
4. 力学、電磁気学、物理学実験などの物理系科目
5. (1) 2013年9月、(2) 5年 ただし、任期の更新または任期の定めのない教員への変更もありうる。
6. 博士号取得者（取得見込みを含む）
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 所属学会および社会における活動等、(4) 教育歴、(5) 教育に対する抱負、(6) 研究に対する抱負、(7) 推薦書、(8) 連絡先、(9) 主要論文の別刷（詳細は <http://www.kait.jp/recruit/> を必ずご覧ください）
8. 2013年4月30日(火) 必着
9. (1) 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学「庶務担当部長気付（物理系列）教員選考委員会」
(2) 基礎・教養教育センター物理系列 教授 万代敏夫
Tel/Fax: 046-291-3076
e-mail: bandai@gen.kanagawa-it.ac.jp

名古屋大学大学院理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻教員

1. 教授又は准教授1名
2. (1) 名古屋大学大学院・理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻
(2) 愛知県名古屋市
3. プラズマ物理学およびその周辺領域（熱核融合プラズマの基礎物理、太陽プラズマ、地球磁気圏の物理、宇宙線加速機構、ビーム物理、高強度場の物理など）。理論・実験を問わない。
4. 「分野」欄に記した内容の研究と大学院生・学部生の教育および当専攻の運営に対して積極的に貢献していただきます。
5. (1) できるだけ早い時期
(2) なし
6. 博士の学位を有すること
7. (a) 履歴書 (b) 研究業績リスト（原著、総説、学会発表別）(c) 主要論文別刷5編以内（コピー可）各1部 (d) これまでの研究内容 (e) 研究計画 (f) 希望する職種（教授または准教授）(g) 推薦書または意見書2通
8. 2013年4月26日(金) 必着
9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科 物理学教室主任 神山 勉
(2) 同物理学教室 久野 純治
Tel: 052-789-2875
e-mail: hisano@eken.phys.nagoya-u.ac.jp
10. 封筒に「素粒子宇宙物理学専攻教員応募書類在中」と朱書きし、書留で郵送のこと。応募書類は返却しません。
11. 物理学教室の選考基準については <http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/scholar/pub.html> を参照してください。

京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻・助教

1. 助教1名
2. (1) 物理学第二教室・宇宙線研究室
3. X線天文学（実験）
4. 飛翔体を用いた高エネルギー天体の観測的研究，
ならびに宇宙X線検出技術の開発研究
5. (1) 決定後早期
(2) なし
7. ○履歴書（顔写真，e-mail，着任可能時期を明記）
○研究業績リスト ○主要論文別刷3編以内（コピー可，各2部）
○研究業績概要 ○着任後の研究計画 ○推薦書または意見書
8. 2013年5月10日（金）必着
9. (1) 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻・物理学第二教室主任 青山秀明
(2) 同専攻・物理学第二教室 鶴 剛
Tel: 075-753-3868
e-mail: tsuru@cr.scpphys.kyoto-u.ac.jp
10. 封筒に「宇宙線研究室助教応募書類（または推薦書，意見書）」と朱書し，簡易書留で送付のこと。
応募書類は原則として返却しません。

国立天文台チリ観測所 ARC サイエнтиスト （特任准教授または特任助教）

1. ARCサイエнтиスト（特任准教授または特任助教），1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所東アジアALMA地域センター（ARC）
(2) 東京都三鷹市
3. 電波天文学
4. ARCにおいてALMAの科学運用に参加するとともにALMAを用いた科学研究活動を行う。
応募に当たっては以下のリンクにある職務の詳細を必ず参照してください。
<http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/recruit/index.html>
(和文)
<http://alma.mtk.nao.ac.jp/e/recruit/index.html>
(英文)
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5年，再任なし。
6. 天文学またはそれに関連する博士の学位を有するか，またはそれと同等以上で，下記の能力，知識

や経験を有する方。

- ・電波観測装置を用いた観測的研究の推進に意欲的に取り組めること
 - ・外国人と議論し共同作業ができる英語力を有すること
 - ・他のスタッフと協力・協調して，科学運用科学評価活動およびユーザー支援業務に意欲的に取り組めること
7. 以下の書類（英語）をPDFファイルとして電子メールに添付して送付する。
 - (1) カバーレター（特任准教授，特任助教のどちらに応募するかを明記する）
 - (2) 履歴書（研究歴も含める：個人としての研究業績のほか，多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入する）
 - (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し，共著の場合は役割分担を記す）
 - (4) 主要論文3編のPDFファイル
 - (5) 職務に対する抱負と計画（研究計画も含める）
 - (6) 本人について意見を述べられる方2名以上の連絡先
 8. 2013年4月5日（金）17時（日本時間）必着
 9. (1) 国立天文台チリ観測所 所長 長谷川哲夫
提出用e-mailアドレス：chile.application@mtk.nao.ac.jp
(2) 国立天文台チリ観測所
東アジアALMA地域センターマネージャー 立松健一
e-mailアドレス：k.tatematsu@nao.ac.jp
問い合わせには「チリ観測所 ARCサイエнтиストの件」である旨を明示すること。
 10. 応募書類を添付したe-mailのSubjectには「チリ観測所 特任准教授・特任助教応募」と明記すること。応募書類のe-mailを受けとったら，折り返し確認のe-mailを送ります。もし，応募書類を送ってから2日（休日を除く）経過しても確認のe-mailが届かない場合は，chile.inquiry@mtk.nao.ac.jpまでお知らせください。
 11. 採用審査：書類および面接により候補者を選考し，国立天文台運営会議の議を経て国立天文台年俸制教官として採用を決定します。
身分・待遇：裁量労働制の職員として，おおむね国立大学准教授または助教と同等の年収となる給与および通勤手当等が支給されます。健康保険，年金については文部科学省共済組合に加入してい

たきます。ボーナス、退職金の支給はありません。科学研究費補助金の応募資格があります。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/dan-jokyodo/>をご覧ください。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻・准教授

1. 2012年2月（第105巻 第2号）
2. 窪 秀利（京都大学大学院理学研究科 助教）
3. 2013年2月

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 2012年9月（第105巻 第9号）
2. 田村元秀（国立天文台 准教授）
3. 2013年4月1日

国立天文台研究教育職員（チリ観測所教授，ALMA システム評価，チリ勤務）

1. 2012年8月（第105巻 第8号）
2. 亀野誠二（鹿児島大学大学院理工学研究科 准教授）
3. 2013年3月1日

国立天文台研究教育職員（チリ観測所准教授，ASTE マネジャー）

1. 2012年8月（第105巻 第8号）
2. 奥田武志（名古屋大学大学院理学研究科 助教）
3. 2013年3月1日

国立天文台研究教育職員（チリ観測所助教，ALMA 科学運用，チリ勤務）

1. 2012年11月（第105巻 第11号）
2. Daniel Espada Fernandez（国立天文台チリ観測所 特任助教）

3. 2013年4月1日

国立天文台チリ観測所 ARC サイエнтиスト（特任准教授）

1. 2012年12月（第105巻 第12号）
2. 小麥真也（国立天文台チリ観測所 助教）
3. 2013年5月15日

1. 2012年12月（第105巻 第12号）
2. 新永浩子（国立天文台 研究員）
3. 2013年4月1日

国立天文台チリ観測所 ARC サイエнтиスト（特任助教）

1. 2012年12月（第105巻 第12号）
2. 秋山永治（国立天文台チリ観測所 プロジェクト研究員）
3. 2013年4月1日

1. 2012年12月（第105巻 第12号）
2. 永井 洋（国立天文台チリ観測所 プロジェクト研究員）
3. 2013年4月1日

賞の推薦

第10回（平成25年度）「日本学術振興会賞」受賞候補者推薦について

1. 趣旨
我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させるためには、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援していく必要があります。この趣旨から日本学術振興会は、平成16年度に日本学術振興会賞を創設しました。
2. 対象分野
人文・社会科学及び自然科学にわたる全分野
3. 授賞
授賞数は25件程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として研究奨励金110万円を贈呈します。なお、日本学士院により、日本学術振興会賞受賞者の中から日本学士院学術奨励賞受賞者が選考されます。

4. 対象者

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと認められる者のうち、平成25年4月1日現在以下の条件を満たす者とします。

- 1) 45歳未満であること
- 2) 博士の学位を取得していること（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含みます。）
- 3) 外国人の場合は推薦時点において我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属しており、今後も継続して我が国で研究活動を予定していること（なお、日本国籍を有する者の場合はこの条件を問いません。）

5. 推薦権者

- 1) 我が国の大学等研究機関の長（機関長推薦）
- 2) 優れた研究実績を有する我が国の学術研究者（個人推薦）

※自薦は受付けません。

6. 受付期間

平成25年4月15日(月)～17日(水) (必着)

7. 推薦手続や推薦書類の提出先及び問合せ先

推薦書類は下記へ、配達記録の残る方法での送付によって提出してください。

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1

独立行政法人 日本学術振興会

研究者養成課 「日本学術振興会賞」担当

Tel: 03 3263 0912 Fax: 03 3222 1986

【URL】<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

様式は上記 HPよりダウンロードしてください。

(進歩賞)を添えて、下記のあて先へ送付してください。応募書類等は三宅賞および進歩賞選考のためにのみ用いられます。締切日：2013年8月31日(必着)

4. 日本天文学会の推薦が必要な方は、

2013年7月31日までに申請書類をお送りください。

- ・送付していただく書類（メールの添付ファイルでお願いします）

推薦書（ワードファイルでお願いします）

主な論文（pdfでお願いします）

送り先 jimu@asj.or.jp

- ・学会の締め切りは、2013年7月31日(必着)

*これまで「奨励賞」として実施してきたが、2013年度より「進歩賞」と改める。

地球化学研究協会ホームページ：<http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~e881147/Geochem/index.html>

応募書類送付先：

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ

(公益信託)地球化学研究基金 伊藤幸雄

問合せ先：電子メールで下記アドレスへお願いします。

e-mail: eitaro1939@yahoo.co.jp

または : t-sagi@m3.gyao.ne.jp

研究会・集会案内

茨城大学宇宙科学教育研究センター／ 国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局 第4回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市にまたがってある32mパラボラアンテナ2基は、衛星通信アンテナから電波望遠鏡への改造がなされ、国際的にも優れた天文学研究の成果を上げ始めました。子どもたちを含め、多くの地域のみなさんに、宇宙の科学に親しんでいただきたいと考え、今年度も公開天文台を開催することとなりました。

日時：2013年4月14日(日)
10～12時、13～16時（雨天決行）

場所：茨城県高萩市石滝上台627-1

（さくら宇宙公園内）

茨城大学 宇宙科学教育研究センター

国立天文台 水沢 VLBI 観測所茨城観測局

主催：茨城大学

2013年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」 および「進歩賞*」候補者の募集

1. 三宅賞

対象：地球化学に顕著な業績を上げた研究者
表彰内容：賞状、副賞として賞牌および賞金20万円、毎年1名

2. 進歩賞

対象：1973年4月2日以降に生まれた方で、地球化学の進歩に優れた業績を上げ、将来の発展が期待される研究者

表彰内容：賞状および賞金10万円、毎年1～2名

3. 応募方法：地球化学研究協会のホームページからダウンロードした申請書に、略歴・推薦理由・研究業績などを記入し、主な論文10編程度（三宅賞）、2編程度

共 催：国立天文台
後 援：高萩市教育委員会，高萩市観光協会，
日立市教育委員会，日立市観光協会
協 賛：茨城県北ジオパーク推進協議会
内 容：施設見学，
4次元シアター，
パラボラアンテナ実験，
電波望遠鏡ペーパークラフト等の作成，
講演「VERAで探る天の川銀河の姿」
(永山 匠 [国立天文台水沢VLBI観測所
研究員]) (13:30~15:00)

参加料：無料

アクセス：①鉄道：JR常磐線高萩駅下車

- 1) 会場まで徒歩 約30分
- 2) バス利用：高萩駅発いぶき台団地行，
高萩工業高校前(約8分)下車，徒
歩5分

②乗用車：常磐自動車道 高萩インター
高萩市街方面約15分9km，旧工業高校
前を山側住宅街に曲がり1km先

駐 車 場：無料 普通自動車300台駐車可(当日は混
雑が予想されます)

注 意：アンテナ見学は動きやすい服装，靴で参加
ください。
当日は高萩市「さくら祭」と同日開催で
す。公開天文台と共にさくら宇宙公園のサ
クラもお楽しみください。

問 合 せ：茨城大学 宇宙科学教育研究センター
〒318-0022 茨城県高萩市石滝上台627-1
(開館は10時から17時，臨時休館あり)
Tel: 0293-24-9516
Fax: 0293-24-9517
メールアドレス：infoast@ml.ibaraki.ac.jp
URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

会 務 案 内

2012年度各賞についてのお知らせ

従来，天文月報4月号に 理事会，評議員会議事録
とともに掲載しておりました「2012年度日本天文学
会各賞受賞者リスト」は，今年度は公益法人移行のた
めにスケジュールが変わり間に合いませんので，天
文学会のホームページおよびtennetを通じてご案内す
ることといたします。

訃 報

石田恵一氏(元 副理事長)が2013年2月1日
にご逝去されました(享年78歳)。謹んでご冥福
をお祈り申し上げます。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード(5桁の数字と)vol98(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは
印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○一▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は
各号共通の数字です。

青木和光(編集長)，市来浄與，大栗真宗，勝川行雄，富永 望，平松正顕，廣田朋也，馬場 彩，前野将太，町田正博，
吉田二美

平成25年3月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所) / 0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©社団法人日本天文学会2013年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)